

公益社団法人劇場演出空間技術協会 (JATET) 25 年の歩み

公益社団法人劇場演出空間技術協会 事務局

当協会は、平成2(1990)年7月に一般社団法人として設立されました。

平成 19(2006)年6月 25 日に発行された機関誌 JATET 第 38 号は、協会創立 10 周年記念号として編集され、創立以来 10 年間の活動について報告致しました。創立後 10 年の歴史は、JATET HP の以下のサイトに掲載されておりますのでご参照ください。
<http://www.jatet.or.jp/history/10th.php>

平成 22 (2010) 年3月1日より公益社団法人として認定され、同年 11 月 25 日発行の機関誌 JATET 第 70 号は、協会創立 20 周年記念号として編集され、創立以来 20 年間の活動のうち、特に創立 11 周年から創立 20 周年までの 10 年間に重点を置いて報告を致しました。内容は、公益社団法人移行についての解説、今後の活動方針である「安全確保」・「技術の向上」・「エコ」について記述しております。

この機関誌 JATET 第 70 号の内容は、JATET HP の以下のサイトに掲載されておりますのでご参照ください。
http://www.jatet.or.jp/history/jatet70_20th.pdf

本号は、公益社団法人に移行後2年目から5年間の劇場演出空間技術協会 (JATET) の足跡と活動について重点的に報告いたします。この5年間の JATET の活動は、東日本大震災の招いた結果と密接な関係がありました。

1. 東日本大震災

東日本大震災は、平成 23 (2011) 年3月 11 日 (金) 14 時 46 分に発生致しました。

太平洋三陸沖を震源とし、地震の規模を示すマグニチュードは 9.0 で、日本の観測史上最大規模でした。この地震は、東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらし、第二次世界大戦後最悪の自然災害でした。大震災に加え、深刻な原発事故も重なり、一時期日本全土で文化芸術活動が停止状態となりました。3 月末になり報道では美術館や文化財に広範囲で被害が発生したことが報じられましたが、被災地の公共ホール・劇場の被災状況も、その多くが深刻なダメージを受けたという情報もありましたが、詳細は把握できてはいませんでした。

そのような状況の中で、当協会賛助会員の愛知県舞台運営事業協同組合より第 18 回愛知県舞台技術者セミナーにおいて、「東日本大震災と劇場」をテーマにセミナーを開催するにあたって、JATET に調査・報告の全面的協力依頼がありました。

高田会長、森副会長、本杉技術委員長と相談の結果、首都圏直下型地震、東海・東南海・南海地震の可能性もささやかれ、今後、国内のどこにいても災害に襲われる可能性があることから、発生が予想される災害に迅速に対応するために、今回の災害の状況を正確に把握し、今後の対応の準備をする必要があると判断し、劇場、公共ホールの被害実態の調査を開始しました。

劇場・公共ホールにおける被害状況の中間発表を、平成 23 年 7 月 12 日 (火)・13 日 (水) の両日に渡って第 18 回愛知県舞台技術者セミナーにおいて行いました。

2. JATET FORUM

1) JATET FORUM 2011

劇場・公共ホールにおける被害状況調査の正式発表は平成 23 年 12 月 15 日 (木) に「あうるすぽっと」(豊島区立舞台芸術交

流センター) にて豊島区の共催を得、「JATET FORUM 2011」を開催しました。

JATET FORUM 2011

日時：平成 23 年 12 月 15 日 (木)

会場：あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)

共催：豊島区、あうるすぽっと、社団法人全国公立文化施設協会

賛助：公益社団法人日本建築学会等合計 21 団体

テーマ：東日本大震災による劇場・ホールの被災調査報告

—劇場・ホールにおける防災・安全・技術—

第1部：ホール災害の実態

第2部：舞台施設の被災と今後の対応

第3部：被災から修復・復興へ



来場者数は 290 名 (関係者を含め 300 名以上の方が参加)、資料集作成のために参加を募ったところ、42 社が広告掲載に応じてくださいました。

JATET FORUM 2011 資料集 (東日本大震災による劇場・ホールの被災調査報告) には、70 を超える震災体験レポートが寄せられ、300 ページを超える資料集となりました。

JATET FORUM 2011 の内容をレポートした機関誌 JATET71 号を平成 24 (2012) 年 2 月 25 日に発行、続いて JATET FORUM 2011 第 3 部のパネルディスカッション報告を掲載した機関誌 JATET72 号を平成 24 (2012) 年 3 月 25 日に発行しました。



2) JATET FORUM 2012-13

前年度より、東日本大震災の被害に関する情報収集、調査、研究事業を継続し、劇場・ホールの震災被害からの復興、再生状況についてアンケート調査及び被災地の劇場の聞き取り調査を合わせ実施しました。アンケートは全国の約 2500 の劇場・ホールに発送し、1050 館から回答を頂きました。また、聞き取り調査は岩手、宮城、及び福島県の 3 県の劇場を訪問して実施しました。

その結果を、東日本大震災による劇場・ホール被災調査報告—劇場・ホールにおける防災・安全・技術（その 2）—資料集として編集、平成 25(2013) 年 3 月 27 日に発行しました。

本研究の成果を多くの関係者と共有し、今後の対応の礎とするべく、報告会「JATET FORUM 2012-13」を以下の日程にて開催しました。また当日、来場者に資料集を配布すると共に、全国約 1600 の劇場に無償で配布しました。

JATET FORUM 2012-13

日時：平成 25 (2013) 年 3 月 27 日 (水)

会場：座・高円寺 2

共催：社団法人全国公立文化施設協会（※平成 25 年 4 月 1 日付で公益社団法人に移行）

テーマ：東日本大震災による劇場・ホールの被災調査報告
“劇場・ホールにおける防災・安全・技術（その 2）”

第 1 部：劇場・ホールにおける震災対応に関する全国調査報告

第 2 部：震災被害に対する復旧改修工事の事例報告

第 3 部：パネルディスカッション

参加者は非会員を含め 150 名の来場がありました。



3) JATET FORUM 2013-14

本協会では文化施設を対象に施設の被災状況、その後の修繕・改修や危機管理の改善等について、全国的なアンケート調査とヒアリング調査を継続的に行い、震災から 3 年近くを経て様々な立場からの提案、活動等をパネリストの報告を基に、今後の文化活動・施設計画の課題を共有すべく JATET FORUM 2013-14 を開催しました。会場配布資料を兼ね機関誌 JATET75 号を発行しました。

JATET FORUM 2013-14

日時：平成 26(2014) 年 1 月 29 日 (水) 会場：座・高円寺 2

共催：公益社団法人全国公立文化施設協会

後援：文化芸術による復興推進コンソーシアム

タイトル：3.11 以降の劇場・ホールを震災対応調査から考える

サブタイトル：劇場・ホールにおける防災・安全・技術（その 3）

PART1：劇場・ホールにおける震災対応に関する調査報告と提言

PART2：震災後の施設計画と文化活動

PART3：これからの施設を考える

参加者は、非会員を含め 169 人が来場しました。



3. 宮城県への許諾

宮城県図書館から JATET 誌 71 号・72 号・75 号等の寄贈を申し込まれ寄贈したところ、宮城県では、県内 33 市町村と連携し、被災地域記録デジタル化推進事業に取り組んでいるところであり、東日本大震災の記録を広く収集し、資料をデジタル化、災害の教訓を後世に生かすことを目的に「(仮称)宮城県震災アーカイブ」を構築し保存・公開をすすめており、本協会発行の JATET 誌 71 号・72 号・75 号について、その対象としたい旨、連絡がありました。

平成 27(2015) 年 1 月 30 日に宮城県知事宛に「被災地域記録デジタル化推進事業における記録物の利用に係わる許諾書」を送りました。

4. 演出空間電気設備指針 2014 解説講習会 (JATET FORUM2014 Vol.2)

平成 11(1999) 年に当協会と(社)電気設備学会の共著で発行した上記指針が平成 23 年に「電気設備の技術基準の解釈」が改

定されたことに伴い改定を行うこととなり、両者による委員会を創設し改定作業を開始しました。当協会は技術委員会が主体となり各部会が各々の分野で改定作業を行い、24年度末に最終原稿を完成させ、劇場等演出空間電気設備指針 2014（JESCE0002/IEIEJ-G-0001）として発行しました。この劇場等演出空間電気設備指針 2014（JESCE0002/IEIEJ-G-0001）の解説講習会を JATET FORUM2014 Vol.2として平成 26（2014）年7月 22 日（火）主婦会館プラザエフ、7月 28 日（月）大阪産業創造館の2カ所にて開催しました。東京会場では 124 名、大阪会場では 74 名の参加がありました。詳細は各部会の報告をご覧ください。

5. JATET ジャーナル

JATET ジャーナルは、4号の発行以来永らく発行が途絶えていましたが、内閣府の助言もあり紙面媒体からWEB 媒体に変容させ、なおかつ JATET 施設見学会と同調させることで、平成 26 年度から再開しました。

2013 vol.5 特集 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

2013-14 vol.6 特集 たましん RISURU ホール（立川市市民会館）

2014-15 vol.7 特集 小金井市民交流センター

2015 vol.8 特集 サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター／上田市立美術館）

JATET ジャーナルは、以下の URL からダウンロードできます。
jatet.or.jp/journal/



6. 独立行政法人科学技術振興機構への寄贈及びデータベース化への許諾

独立行政法人科学技術振興機構より JATET の発刊物に対する寄贈の要請があり、JATET ジャーナル WEB 版も含め、寄贈しました。

寄贈した発刊物は、論文ごとに書誌・抄録等の情報をデータベースに収録され、独立行政法人科学技術振興機構のオンライン情報システム等を通じて国内はもとより世界の利用者に広く提供されております。

7. JATET 誌の全国主要ホールへの寄贈

73 号より発行部数を 2000 部とし、そのうち全国公共ホール 1370 館、官庁・関係団体約 100 団体へ寄贈。また、国会図書館、松竹大谷図書館、早稲田演劇博物館等に寄贈し、会員 150、広告主 20 団体へ配布をしています。

JATET 誌の全国公共ホール、関連団体、図書館への寄贈は、JATET の公益活動に十分相応しい事業であると自負しております。



8. 技術系各部会のセミナー開催

各部会とも部会内セミナーや対外セミナーを実施しています。